

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
1 学期	4 月	1	オリエンテーション	・美術における自己表現と自己実現 ・授業の心構えと約束(評価基準)			○	・美術と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味を考え、意欲的に取り組んでいる。
		2	クロッキー 鉛筆で表そう	・人物クロッキー ・道具の使い方を学ぶ/鉛筆を削ろう ・グラデーションと調子(陰影)	○	○	○	・対象をよく観察して、素早く正確に形態を捉えようとしている。 ・ハッチングなどの技法を積極的に取り入れようとしている。 【作品】
		5	手のデッサン	・手の構造(骨格、関節、筋肉)や動きの特徴を理解し、正確に形を捉える技能を身につける。	○	○	○	・濃淡の表し方と、光の方向を考えながら影のつけ方を丁寧に表現しようとしている。 【ワークシート】【作品】
	5 月	5	モダンテクニック	・フロッターージュ、ドリッピングなどの技法の特徴を理解し、自分が考えた主題を表現するための技能を身につける。	○	○	○	・各技法の表現の違いに気づき、意図に応じた表現方法を工夫し、主体的に取り組んでいる。 【ワークシート】【作品】
		6 月	3	色彩の学習	・色彩の学習をもとに、色彩を美しく表現する。 ・色の三属性/三原色/色の種類/色相環/補色/減法混色と加法混色	○	○	○
7 月	9		アクリル画	・アクリル絵の具の特性や技法を理解し、適切な道具を選択して使用できる技能を身につける。 ・自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちを印象派などの作品(色彩・タッチ)を参考に工夫して描く。	○	○	○	・対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさを、意図に応じて表現方法を工夫しようとしている。 ・主題やテーマに基づき、構想を練り、創造的な表現を画面以上に展開しようとしている。 ・友達の作品の良さを感じ取り、意図や工夫を考え、見方や感じ方を広げている。 【ワークシート】【作品】
	2 学期	8 月	9	立体造形	・立体作品に関心を持ち、材料や表現方法から発想を広げ、主題を生み出す。 ・材料や用具の生かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表す。 ・空間的な量感や動勢(マッサ・ムーブメント)を意識した立体作品を制作する能力を養う。 ・参考作品や完成作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○	○	○
9 月		5			文字のデザイン	・レタリングの基礎を理解し、美しく描く能力を身につける。 ・漢字の意味を伝えるためのデザインを学び、創造的な表現力を育む。 ・書体の理解(明朝体・ゴシック体など)レタリングの技法を学び、実践する。	○	○
10 月		6	気持ちを伝えるデザイン	・主題をもとに、材料の組み合わせや表現方法、構成などの構想を練る。 ・他者の立場に立って、伝えたい内容を分かりやすく美しく表現する能力を育む。 ・完成作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じ取り話し合う。意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○	○	○	・様々な表現の違いに注目しようとしている。 ・構図や形の組み合わせ、色彩の効果を工夫している。 ・表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を広げている。 【ワークシート】【作品】
11 月				1 月	2 月	3 月		
12 月								
3 学期	1 月	6	気持ちを伝えるデザイン	・主題をもとに、材料の組み合わせや表現方法、構成などの構想を練る。 ・他者の立場に立って、伝えたい内容を分かりやすく美しく表現する能力を育む。 ・完成作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じ取り話し合う。意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○	○	○	・様々な表現の違いに注目しようとしている。 ・構図や形の組み合わせ、色彩の効果を工夫している。 ・表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を広げている。 【ワークシート】【作品】
	2 月			1 月	2 月	3 月		
	3 月							